

2021年10月4日
日本原燃株式会社
再) 防災業務課

COP資料の合理化に係る再検討結果について

1. はじめに

前回の面談時に教示頂いた電力殿のCOP資料構成をもとに、再処理事業所として運用方法の検討を行った。

【教示頂いた電力殿のCOP資料構成】

- ・COP①：概略図を用いて施設の状態がわかる
(今何が起きているか)
- ・COP②：事故収束に使用できる全ての設備を記載し、使用可否がわかる
(今使えるもの、使用状況)
- ・COP③：戦略を説明(失敗した場合の次の手など)
(戦略の考え方)

2. COP資料の記載内容に係る再検討結果

教示頂いたCOP資料構成をもとに、以下のとおり再検討を行った。

【COP①-1：全体概要図 1枚】

- ・概要図にて安全上重要な設備(「冷却」、「掃気」、「排気」)に係る施設の状況を示し現在の状況が説明できるようにする
- ・また、安全上重要な設備の機能が喪失した場合は、対策の進行状況を示す

【COP①-2～①-4 重大事故対策の対策状況 3枚】

- ・蒸発乾固、水素爆発および代替セル排気の各対策について、現在の対策状況を示し説明できるようにする

【COP②：設備状況シート 8枚】

- ・屋外、非常用電源建屋および主要建屋(前処理建屋、分離建屋等)毎にシートを作成し、現状使用できる設備を対策毎に明確化する

【COP③：戦略シート 2枚】

- ・「冷却」および「掃気」等の対応手段に係る優先順位を示し、各々の作業予定(「準備開始」、「完了予想」および「使用開始」)を明確化する

3. COP資料の説明方法

- ・COP①-1（全体概要図）を用いて、施設の状況説明
- ・COP①-2～①-4（重大事故対策の対策状況）を用いて、現在実施している重大事故対策の状況説明
- ・COP②（設備状況シート）を用いて、使用できる設備および対応可能な対策の説明
- ・COP③（戦略シート）を用いて、対策の優先順位および対策が失敗した場合の対応方法を説明

なお、各COPを説明する際には、以下のERC備付け資料を用い、必要に応じて補足説明を実施する

【補足説明に使用するERC備付け資料の例】

- ・重大事故対策移行時における初動対応状況および結果
- ・各貯槽等における制限時間
- ・各対策の概要
- ・自主対策に係る概要図

4. COP資料の全体構成案

- ・COP①-1 全体概要図
- ・COP①-2 重大事故対策の対策状況（蒸発乾固）
- ・COP①-3 重大事故対策の対策状況（水素爆発）
- ・COP①-4 重大事故対策の対策状況（代替セル排気）
- ・COP②1／8 設備状況シート（屋外）
- ・COP②2／8 設備状況シート（非常用電源建屋）
- ・COP②3／8 設備状況シート（前処理建屋）
- ・COP②4／8 設備状況シート（分離建屋）
- ・COP②5／8 設備状況シート（精製建屋）
- ・COP②6／8 設備状況シート（ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋）
- ・COP②7／8 設備状況シート（高レベル廃液ガラス固化建屋）
- ・COP②8／8 設備状況シート（使用済燃料受入れ・貯蔵施設）
- ・COP③ 戦略シート1／2（再処理本体）
- ・COP③ 戦略シート2／2（使用済燃料プール等）

以 上